

桜屋敷書庵の

桜の樹の下には

死体が埋まっている

Cherry's Temptation MIX



チねえ
エリ

桜屋敷書庵の
桜の樹の下には
死体が埋まっている

——って
ホント？

オク
禁止

電子書籍・電子版の
複製・改変を禁ずる

転載
禁止

印刷・複製・改変を
禁ずる



………何だ
藪から棒に



結構有名な
話じゃん

知らないの？

知ってるわ

自然の
摂理



この辺じゃ
散る桜が珍しいせいかな
べたな噂が回ってな

じゃ、やっぱ
嘘なんだ
わかってたけど
けど残念

いつも求人
出してるのは

アシスタント
殺して
埋めてるからって
聞いたのにな

………
たいのか



スライムより
かっこよくて
いいじゃん



へんに吹聴
するなよ?
営業妨害だからな

桜屋敷先生が
妖狐の末裔
とかも?

…ゲームの
しすぎだぞ
ミヤ



ゴリ
ラな

イ
ラ

狸
じゃねえ

どっちかっ
つっただら
狸だけどな

ラ
ン
だ



ま
ったく

噂なんざ
くだらない
戯言だ

蕾



ATTENTION:

モブ主観ジョーチェリ本です。
名前のないモブが数人登場します。



わからない事があつたら何でも聞いてくださいね

主なもの以上の説明は

一分咲き



あ、先生
一通りの説明
終わりました

はい!!
ありがとうございます!!



やあくんだね

はい!!

今日から僕は
憧れの人の下で
働くことになった



そうですか
どうもありがとうございます

A一書道家

桜屋敷薫先生



まさにその名が
表すように

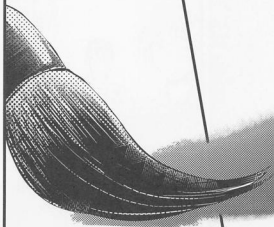
その作品は
国内外問わず
高く評価され

華やかな外見と
相まって
絶大な人気を
博している

学科の授業で
見学をした
席上揮毫

美しき上品で

才能に溢れた
若き芸術家



一瞬で心を
鷲掴みにされた

養心莫善於寡欲

「心を養うは
寡欲より
善きはなし」

白い指先
繊細な筆致

心を成長させるには
欲望を少なくするのが
一番だと説く
孟子の言葉です

これは
人間の本性は善
であるという――

その筆致に
相應しい
清廉潔白な人柄

書を志す者なら
誰だって――
憧れてやまない

10:3
02/0

アシスタント
募集の広告を
見つけたのは

運命だった
のだと思う

何にでも
合う合わないが
あると思うから

はい！
頑張ります！！

面接でも伝えたが
最初の一カ月は
試用期間と
させてもらいたい

そんなに
気負わなくても
大丈夫ですよ

ああ

先生が
微笑むたびに
思考が
塗り潰されて
いくようだ

キラ

キラ

キラ

三分咲き

こうして
桜屋敷書庵での
試用期間は
始まった

本土の
桜ですか

散る桜っていうのも
緋寒桜とは
また違った風情で
良いですね

桜の木の下には
死体がうんたて
狂気的な想像を
掻き立てるような
魅力がある

梶井基次郎
ですね

まるで
桜屋敷先生の
魅力に通じる
ものがありますな

ははは
やめてください
人間きの悪い



あんまり本気に
しないでくれ

え？

さっきの話

駆け出しの頃から
付き合っている方
なんだが

何かとああして
私を揶揄うんだよ
仕方のない人だよ

あはは

さすがに
本気になって
しませんよ

かわいい人だなあ
先生もそんなこと
気にするのか

そうして
くれると
助かる

でも少し
わかる気もする

おとぎ話みたいな噂も
違和感がない程

桜屋敷先生は
浮世離れた
魅力を持っている

桜屋敷

五分咲き



すみません

桜屋敷先生
いらつしやい
ます？

はい

!?



あ、え、え

ど…どちら
さまですか

いや…
ちよっとした
知り合いと
いうか

し、
知り合い…



こん
ガラの悪い男が？

先生でしたら
アトリエに
おりますが

お仕事関係の
方ですか？

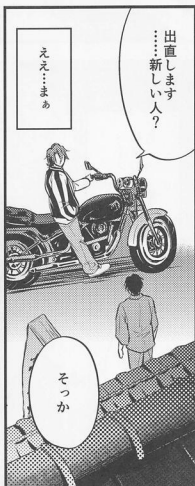
あー

そういう訳では
ないんですけど



余計な世話かも
しれないけど

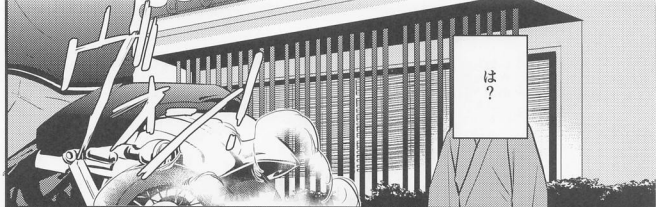
ここで働きたいなら
先生に入れ込み
すぎないように
した方がいいぜ



出直します
…新しい人？

ええ…まあ

そっか



は？



ん？

あの、先生
すみません

何だ？今の



バイクに乗った
体格のいい
ちよっと癖毛の…

……!!

表に先生の
知り合いという方が
いらしてたんですが



何か
あったかな？

先程その…



本当に
困っている

あれは……
タチの悪い厄介な
ファアンなんだ

ッ!!



先生?

……気にしない
でくれ



警察に
言った方が……

え?

大丈夫
なんですか
それ

あ、



いいいや
いいんだっ

そこまでの
話じゃない!!

でも!
何かあったら

できれば
事を荒立てたく
なくて……その

迷惑をかけて
すまない



先生が
微笑むたびに
訪れる

ああまただ

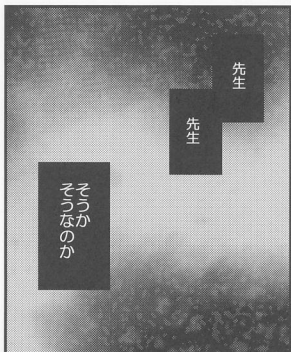


ありがとう

あ、



心配して
くれて



先生

先生

そうか
そうなのか



思考が
塗り潰される
この感覚



きつと
これが恋という
もののなのだ

七分咲き



その日から僕は
先生の周囲を
注意深く観察する
ようになった

朝は少し遅めに起床
日中はWEBでの
打ち合わせや
執筆、作品制作に
取り掛かり



夕方は書道教室での
指導や会食に向く
これが平日の
基本のスケジュール

ただ一つ
気になるのは
週末、朝帰りを
することだ

「朝帰り」
先生にはだいたい
似つかわしくない

一度それとなく
尋ねてみたが

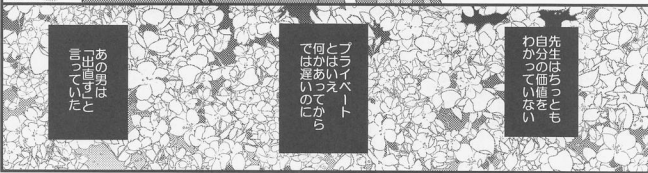
週末？ああ、実家に
帰っているんだよ
母が寂しがってるね

心配するような
ことは何もないよ



とことな
はぐらかされてる

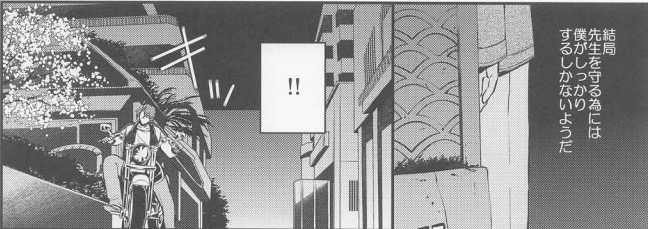
と、直感的に思った



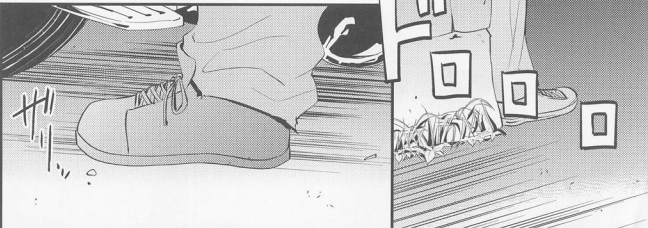
先生はちつとも
自分の価値を
わかつていない

プライベート
とはいえ
何かあってから
では遅いのに

あの男は
「出直すと
言っていた



結局
先生を守る為には
僕がしっかり
するしかないようだ



あの男だ!!



どうする

しつこく
困っている
先生は言っ
ていた

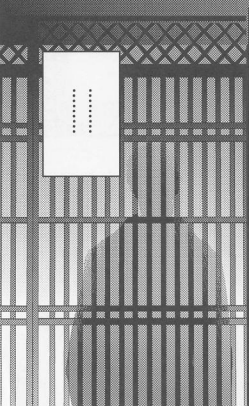
事を荒立てたく
ないとも

ちがしかしたら
何か弱みでも
握られて

それをネタに
強請られていた
りするんじゃないか

週末の朝帰りも
それが理由だとしたら

.....





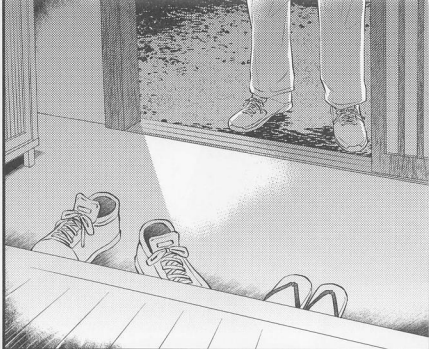
仕方ない
行かない

これは
先生を守る為
なんだ

今更いたい
何の用だ

ドキン

ドキン



お姫様の機嫌を
取りにきたんだよ
陰険メガネ

ドキン

突然訪ねて
失礼だと思わんのか
脳筋ゴリラが

ドキン



俺はまだ
許さない
だから

だからこうして
謝りに
来たろうが

来るのが遅い
すまんの一言に
何日かけるんだ

ドキン




だるから
何度か休みの日に
来たんだっつーの

お前忙しそう
だったから
帰ったけどよ


根性なしめ
普段の強引さは
どうした

それはそれで
怒るじゃねーか

ドキン



面倒くさくない
女のところへ
行くか？



あゝあ、ほんと
面倒くせえ奴



試すような
こと言うな

行くかよ
スカタン



.....
は
.....



頭が
回らない



何だコレ



待てねえよ

まだ
布団を
敷いてない

ばか
帯を解くな



なんの言葉も
出てこない

抱かせろ
カオル

ずっとお預け
食ってたんだ

ぎゅ



状況がうまく
飲み込めない



虎次郎



久々ののに
やーらけー

ちゅ

んっ

んんん

ん



うるせえ
さっさと
寄こせポケナス

ゴッ

ゴッ

おっ

マジか



自分で
してた？

……



ちゅ
ちゅ
ちゅ

何？舐めて
くれんの？

サーピス
いいじゃん

んー

ちゅ
ちゅ
ちゅ



今日は上に
乗ってくれよ

ほら、薰

そういうとこ
かわいいうな
お前

美味そうに
しゃぶっちゃって

んむっ

んむっ
ちゅく

ちゅく

いっ
いっ
いっ

あ
んんう
見
る
べ
き
じ
ゃ
な
い



自分で
挿れてみて

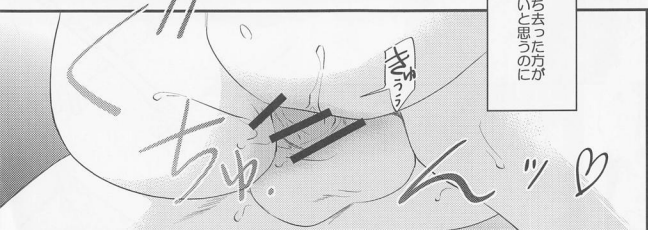
俺の



あ、あっ

あーっ
♡
♡

立ち去った方が
いいと思うのに



あ
ん
♡
ちゅん♡

少しも目が
そらせない

こじろっ

キスする

はいよ

んー？

はっ、
はあ…っ

ちやん

こじろお

あッ

あッ
あッ

かおる
もつと腰振れ

あッ！

あ、ゴ
そニヤニヤ

あ

あん

ひっ

あっ

ハク

ハク

ハク

ハク

ああっ

これが

僕の憧れた
先生か？

あ

ほ

だめ

だめっ

こころっ

ハ

ハク

ハク

ハク

イケよっ
かおるっ

俺もイクから

イクッ
イクッ

だめっ

ハク

ハク

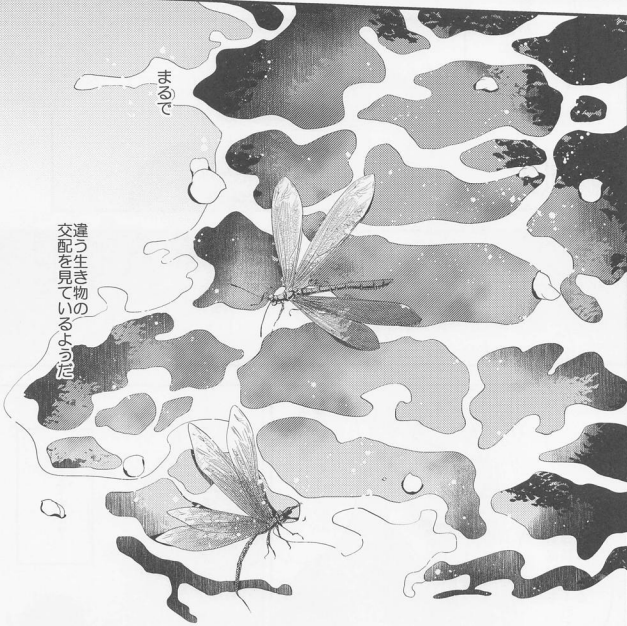


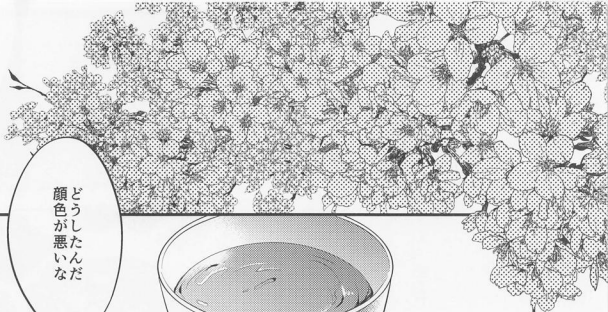
はあ、

はあッ

おんじ

違う生き物の
交配を見ているようだ





どうしたんだ
顔が悪いな

満開

はっ

体調が悪いなら
無理をしなくていい

君はいつも
頑張ってくれて
いるからな

先生の

そ、
そうですか？

昨日の姿が
目に焼き付いて
離れない

頼まれても
いない残業は
さぞ骨が折れる
だろう

家の外を
見張るだけなら
まだしも

住居侵入は
褒められた話
ではないがな

毎日毎晩
ご苦労な事だ

きのう

見てただろ？



なかなか
いい趣味を
しているな

……あ……
……その……



ほう



先生のことが
心配で



そうか



あなたのことが
好きなんです



なぜ？

そんなの
決まってる



もうあんなことは
やめてください

A―書道家
桜屋敷薫

名は体を
表すように

美しく上品で

才能に溢れた
若き芸術家

あの繊細な筆致
清廉潔白な人柄

そうではなく
では足りない

僕の好きに
なつた人は
そういう人だ

純然たる信仰だ

これは
恋なんてもの
じゃない

信じる神が汚されて

平気な信奉者など
いるものか

なるほど
実際に押し付け
がましいな

お前の言う
桜屋敷薫なんて

理想を詰め込んだ
想像の産物だろ

それを
信仰だなんて
よく言えた
ものだ

そんなに
敬度なわけが
あるか

あいつに抱かれる
俺を見ながら

自分も
俺を抱きたいと
思ってたくせに



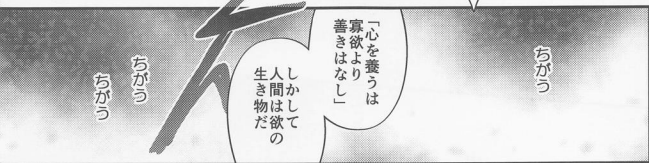
あんなに
血走った
まなざしで

何も
思っていない
無理がある

……ッ

あいつと同じことを
俺にしたかっただろう

ちがう



「心を養うは
寡欲より
善きはなし」

しかして
人間は欲の
生き物だ

ちがう

ちがう

ちがう



欲を持つのは
悪いこと
じゃない

言い訳ばかりで
目をそらす方が
よほど不健全か
ものじゃないか

僕はそんな目で
先生を――

マスター
メールの着信が
一件あります

ゴッ

七

『南城虎次郎』
です

…送信者は？

「ジュン」

ふふっ

カーラ
虎次郎に
返信を

タイミンクの
良いことだ

…
やめろ

OKマスター
どのように
返信しますか

何なんだよ

そうだな

なあ

『今夜は

俺が

全部
わかってて

そちらに行く』

馬鹿に
してんのか

人を虚仮にしやがって





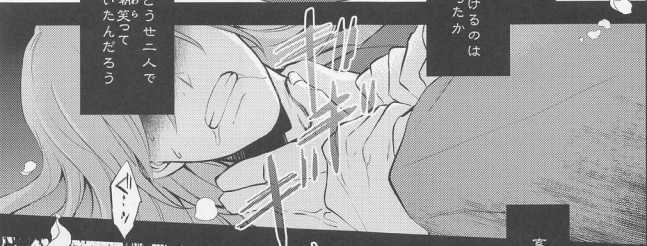
そんなに
あの男がいいのか

あ……

俺の気持ちを
知りながら

見せつけるのは
楽しかったか

どうせ二人で
朝あら笑って
いたんだろう



畜生

畜生ッ

ふざけやがって



理想のまま
いてくれたら
よかったのに

それだけで
よかったのに
……!!

それなのに

それなのに
……

でも

なんでこんなに
好きだったん
だっけな

よく
思い出せない

はあっ

はあっ

はあっ

はあっ

ただ

一つだけ
わかるのは

面倒ごと
になる前に

これをどこかに
隠さなくては
いけないという



噂が本当に
なるだけだ

大丈夫
大丈夫

心配すること
はない

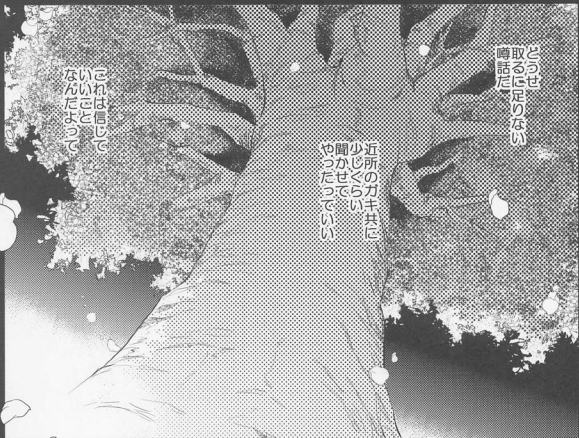
俺だけが
知っている

誰か
知らない
先生が土中
に



これから
腐乱した死体の
体液を吸って

来年の桜は
さぞかし綺麗に
咲くだろう



どうせ
取るに足りない
噂だ

近所のガキ共に
少しくらい
聞かせて
やっただけいい

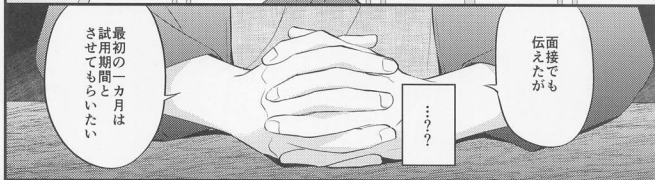
これは信じて
ないことよって

桜屋敷書庵の
桜の樹の下には
先生の死体が
埋まっている



え？

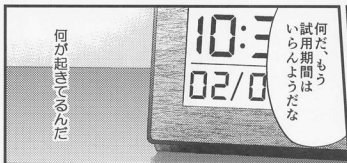
.....



最初の一カ月は
試用期間と
させてもらいたい

面接でも
伝えたが

...う？



何が起きてるんだ

何だ、もう
試用期間は
いらんようだな



...なんだ

何にでも
合う合わないが
あると

...おや？



どうした

狐に化かされた
ような顔をして

くす

狐……？

狐神は
動物性の高い

長く生きた狐は
妖力を持ち
人を過剰に
魅了するという

『だっき 褒姒』
『なまのまへ 玉藻前』

昔から狐に
関する逸話は
人を誘惑し謀る
話が多いだろう

彼らの中には
後に人の血と
混じった個体も
いたが

子孫は当然
力を失って
今となっては
人と変わらない

それでも時折
波長の合う人間を
見つけることがある

君には
悪いことを
したな

だ
が
も
う
大
丈
夫
な
は
ず
だ

死
体
は
埋
め
た
だ
ろ
？

夢か

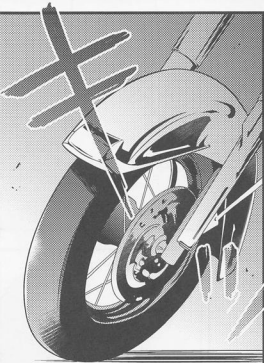
現か



桜屋敷薫への
憧れも
執着心も
気づけば跡形も
無くなっていた

彼の言葉が
椰揄や妄言で
ないなら

僕は
憑き物とやらを
自ら捨て去った
ことになるのか



もしかしたら
過去にも
何度か同じような
ことがあったの
かもしれない



結局、初日で
辞めることに
なった僕を

彼は慣れた調子で
送り出した

えーやめちゃうん

どうですか

なごごご



桜屋敷書庵の 桜の樹の下には 死体が埋まっている

Cherry's Temptation MIX

- ◆発行日：2022/02/20 ◆印刷：トム出版様
- ◆サークル：ノルカソルカ ◆発行者：きゆ子
- ◆twitter : kiyuko4179 ◆PixivID : 1688787
- ◆mail : address4cho_me@yahoo.co.jp

本作品はオフィシャル関係各社とは、一切関係ありません。
転載およびネットオークション・フリマサイトへの出品はご遠慮ください。

桜の樹の下には死体が無くてはいけない。
どうにかして埋めよう。そんな意気込みから始まった本です。
桜屋敷先生の祖先是狐だし、先生本人は「先祖返り」みたいなイメージでした。
虎次郎視点の話も考えてたけど、それは気が向いたらその内どこかで。
書庵は沖縄でソメイヨシノ(なのか?)が咲く不思議空間なの、ちょっと好き。
鉈足だけど、当サークルの犬猿は、デキてるけど付き合っていない。
お読みいただいてありがとうございました。

参考文献：桜の樹の下には／梶井基次郎・著

SK∞ unofficial fanbook #02 JOE × Cherryblossom

